お知らせ

市立病院通信 -④-
お元気ですか

市立長浜病院
脳神経センター
脳神経外科 責任部長
小室太郎先生

脳神経外科の病気です！

このコーナーでは、市立長浜病院のドクターの紹介を兼ねて、「普段の生活での予防法」など生活に役立つ“健康豆知識”を紹介します。

脳神経外科で治療する病気の症状は頭痛と半身不随だけではありません。意外な症状の裏に脳神経や脳血管にまつわる病気が隠れていることもありますので、以下にその一部をご紹介します。

「急にまぶたが開かなくなった／物が二重に見えるようになった」脳動脈りゅうかもしれません。破裂するとくも膜下出血となり、死亡率3割・後遺症発生率3割です。「歯が痛くて抜歯したけど治らない」歯の痛みを感じる神経の問題かもしれません（さんさ神経痛）。「眼球の強い充血に加えて物が二重に見える」眼球周辺の静脈に血液が逆流している硬膜動静脈ろうかもしれませんので、脳出血の原因ともなりかねません。「妊娠もしていないのに月経周期が止まった／出産もしていないのに乳汁が出てくる」脳下垂体の腫瘍があるかもしれません。「原因不明の聴力障害が進行した／突発性難聴を繰り返している」耳の神経が脳に入る辺りに腫瘍ができている可能性があります。

こういった症状で悩んでいらっしゃったら、ぜひとも脳神経外科を受診してください。当科では安全重視の手術療法と京都大学脳神経外科から経験豊富な術者を招聘しての脳血管内治療（カテーテル治療）、当院放射線科での定位放射線治療などを組み合わせた集学的治療が可能なシステムを採っています。患者さんはたった1回のチャンスを賭けて私共の病院に来られるものと心得て、質の高い診断と治療を丁寧に行うことを心掛けております。

問 市立長浜病院（☎68－2300(代表)）

がん・緩和ケアに関する公開講座をはじめました

市立長浜病院では、５月より「がん・緩和ケアに関する公開講座」を開催しています。

がんは長期間の治療の継続が必要な病気であり、様々な副作用や合併症が伴う治療は、こころに大きな負担をかけます。

がん相談支援センターでは、患者さんやご家族からの相談の中で最も多かった悩みを改善できるよう公開講座を開催しています。

身体やこころのケアの方法を覚え、より良い生活を送っていただきたいと考えています。ぜひ公開講座にご参加ください。

＜第２回公開講座 開催のお知らせ＞

【テーマ】「口腔ケアについて
～食べるために行うこと～」
【講　師】市立長浜病院 口腔外科　山口医師
【開催日】７月14日（木）14時～15時
【場　所】市立長浜病院 ２階講堂（大戌亥町）

問・申 市立長浜病院　がん相談支援センター
（☎68－2354‹直通›、FAX 65－2730
Eメールsoudan@nagahama-hp.jp）

滋賀　いのちの電話

第５期 電話相談員養成講座受講生募集!!

（～8月10日まで）

人生の危機に直面し、生きる希望や気力を失いつつある人に電話を通じて心を通わせ、生き抜いていく勇気を持っていただくために、私たちは受話器を握っています。あなたも「いのちの電話」に加わって受話器を握るボランティアのひとりになりませんか？

問・申 滋賀いのちの電話事務局
（☎０７７－５５２－１２８１）

「ミニとまとの会」

社会的ひきこもりの子ども（20歳以上）をもつ湖西湖北地域の親の会です。悩んでいること、困っていることを話し合い、学びあい、また、お互いが元気になる和やかな会です。お気軽にお集まりください。

【と　き】毎月　第３土曜日
【ところ】今津東コミュニティセンター
（高島市今津町中沼1-4-1）

問 ミニとまとの会お世話係　渡辺恭初
（☎０７４０－２０－１５２８）

お知らせ

木造住宅耐震改修補助
木造住宅無料たいしん診断
の申込期間を延長します

【延長期間】８月31日（水）まで（先着順）

詳しくは広報ながはま５月１日号か、市ホームページをご覧ください。

問 建築住宅課（☎６５－６５４３）

子ども手当の現況届の提出は必要ありません

「つなぎ法案」の可決により、子ども手当は、今年９月までは、これまでと同じ月額で引き続き支給されることになりました。

そのため、毎年６月にお願いしていました現況届は、今年は提出が不要となりました。

10月からは新制度に移行し、新たに手続きが必要になる予定です。新制度につきましては、決まり次第、広報ながはま等でお知らせします。

問 子育て支援課（☎６５－６５１４）

おたっしゃ交流事業

高齢者が公民館講座受講料などの利用助成を受けられる「おたっしゃ券」を交付します。これは高齢者が外出するきっかけをつくり、互いに交流し、助け合う機会を増やすため、また老人クラブへの参加など、生きがいづくりをすすめるための事業です。

【対　象】65歳以上（H23．４．１現在）の老人クラブ会員および市民
【おたっしゃ券助成額】１，０００円分
【１次受付(申込)期限】８月１日（月）
【利用可能な施設および事業】
公民館主催講座、文化スポーツ事業団主催事業、鍼灸マッサージ、温泉施設　他

申・問 長浜老人クラブ連合会事務局（☎長浜65－7822、浅井74－8200、虎姫080－2414－3813、びわ72－4399、湖北78－2145、高月85－5700、木之本82－5419、余呉86－2195、西浅井89－1127）

市長コラム⑫
至誠通天
藤井 勇治

※至誠通天
誠を尽くせば天が味方してくれること

災害対策の議会

東日本大震災の発生から４か月近くが経過しました。千年に一度の天変地異で被害を受けた多くの皆さんに心からお見舞いを申し上げます。

また、市民の皆さんからは、励ましのメッセージをはじめ、多くの救援物資や貴重な義援金など心暖まる支援活動を積極的に行っていただき、心から感謝申しあげます。皆さんのこうした思いをしっかり被災地に届け、励まし、信頼の絆を結んでいきたいと思います。

さて、６月の定例市議は様々な議題が議論されましたが、圧倒的に「災害対策」についての議題が取り上げられました。市民生活に直結する問題であり正に世評が現れていました。特に「福島原発事故」は「世界一安全」の神話が崩壊したと言っても過言ではありません。今後は市民の皆さんの不安や不信をしっかり受け止め、国の原子力災害対策特別措置法の改正や、県の地域防災計画の原子力対策の見直しを求め、全力で取り組んでまいります。災害はいつ来るかわかりません。

早速、総務部に県下で初めての「原子力安全対策室」を設置し、担当職員が隣の敦賀市役所へ出向き、諸協議に入っております。また、経済産業省原子力安全保安院の担当者を市役所に招き安全対策について意見交換を行いました。今後国・県・事業者への働きかけや安全協定の締結、地域防災計画や避難計画など危機管理体制や情報伝達手段を確立し万全を期してまいります。

一方、今回の災害の教訓で改めて感じるのは、文明がどんなに進んでも人は自然の中で暮らす生き物であると言う事です。人間も自然の一部であり、私達の生活を支えてくれるのは美しい自然です。この大切な自然と向き合い心豊かな暮らしを求めていかなければなりません。

▲全てを破壊した災害現場

▲６月定例議会